



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 アイビーシー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3920 URL https://www.ibc21.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス統括部長 (氏名) 嶋根 直登 TEL 03-5117-2780
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	1,001	8.9	126	321.5	121	557.6	82	—
2020年9月期第2四半期	920	5.0	29	△81.6	18	△88.7	△225	—
(注) 包括利益	2021年9月期第2四半期		93百万円 (—%)		2020年9月期第2四半期		△224百万円 (—%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	14.89	14.76
2020年9月期第2四半期	△40.93	—

(注) 2020年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,128	1,633	52.2
2020年9月期	3,045	1,539	50.5

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 1,633百万円 2020年9月期 1,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 2. 2021年9月期第3四半期以降の配当については、現時点では未定であります。

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,313	18.8	322	62.3	319	83.3	195	—	35.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	5,721,600株	2020年9月期	5,715,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	194,159株	2020年9月期	194,159株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	5,524,321株	2020年9月期2Q	5,519,671株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会について)

四半期決算補足説明資料については、2021年5月14日（金曜日）に開示しております。また、四半期決算説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、中止とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的規模での蔓延が国内外の経済活動に大きな影響を及ぼしており、一時的な回復傾向は見受けられたものの、国内外における新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、景気の先行きは依然不透明で厳しい状況が続きました。

企業においては、サイバーセキュリティ強化、少子高齢化に伴う労働人口の減少や働き手ニーズの多様化等の社会的な要請を背景に、業務プロセスの効率化や自動化等の推進にデジタルトランスフォーメーションとして取り組む過程において、レガシーシステムからクラウド環境への移行が進んでおり、オンプレミス（自社運用）環境とクラウド環境が混在するハイブリッド環境が増加する一方、新型コロナウイルス感染拡大を受けたリモートワークへの対応等も継続しております。そのため、情報サービス業界においては、ITインフラ投資が中長期的には全体として増加するものと考えますが、景気の不透明感の増大に伴い、短期的には当該投資の抑制傾向が見受けられます。

このような状況下、当社ではパートナー企業と連携した公共セクター等におけるITインフラ管理強化支援や、ハイブリッド運用ニーズに対応し「ITコストの最適化」及び「IT運用管理の効率化」に寄与する、自社開発のネットワークシステム性能監視／情報管理ツール「System Answerシリーズ」の機能拡張及びサポート強化を継続してまいりました。また、24時間365日有人監視サービス「SAMS」等の顧客ニーズに合致したサービス提供や、特許取得済み技術に基づくセキュリティ電子証明基盤サービス「kusabi」に係るパートナー企業との連携強化及び拡充など、成長分野における取り組みも推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、当社及び株式会社サンデーアーツともに堅調に推移し、売上高は1,001,756千円（前年同期比8.9%増）となりました。

損益面は、当社サービスラインナップの多様化に伴うプロダクトミックスによる影響により、売上総利益率が前年同期比で低下いたしました。前第2四半期連結累計期間で連結対象であったiChain株式会社を、2020年6月30日付で同社の全株式を譲渡し2020年7月1日以降当社の連結対象から除外したことにより、同社販管費が減少したことを主たる要因とし、営業利益は126,312千円（前年同期比321.5%増）となりました。また、持分法による投資損失等の計上により経常利益は121,518千円（前年同期比557.6%増）となりました。さらに、親会社株主に帰属する四半期純利益は82,272千円（前年同期は225,901千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループは、ソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、当社グループの売上高の大半を占める当社のネットワークシステム監視関連事業に係る販売実績を提供区分別に示すと、次のとおりであります。

ライセンスの販売については、新規顧客への販売が想定以上に滞り前期比で大きく減少しました。一方で、サービスの提供については、次世代MSPサービスSAMS案件や既存顧客に対するコンサルティング等の増加、その他物販等については大型案件の受注によりそれぞれ伸長しました。その結果、ライセンスの販売については売上高396,168千円（前年同期比17.7%減）、サービスの提供については売上高248,137千円（前年同期比26.6%増）、その他物販等については売上高291,912千円（前年同期比57.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、3,128,622千円（前連結会計年度末は3,045,059千円）となり、83,563千円増加しました。その主な要因は、売掛金が89,268千円、現金及び預金が57,380千円減少した一方で、投資有価証券が246,857千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,494,909千円（前連結会計年度末は1,505,600千円）となり、10,691千円減少しました。その主な要因は、短期借入金が70,000千円が増加した一方で、長期借入金が61,198千円、買掛金が11,906千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,633,713千円（前連結会計年度末は1,539,458千円）となり、94,254千円増加しました。その主な要因は、資本金及び資本準備金が新株予約権の行使による新株の発行に伴いそれぞれ900千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が82,272千円、その他有価証券評価差額金が10,767千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,171,678千円となり、前連結会計年度末に比べ57,380千円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、226,110千円の収入（前第2四半期連結累計期間は49,664千円の収入）となりました。この主な要因は、仕入債務の減少11,906千円及び未払消費税等の減少42,383千円により、それぞれ資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益122,103千円の計上、売上債権の減少89,268千円、法人税等の還付額37,031千円、及び減価償却費22,640千円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、294,032千円の支出（前第2四半期連結累計期間は89,742千円の支出）となりました。この主な要因は、投資有価証券の取得による支出231,189千円、保険積立金の積立による支出45,559千円、無形固定資産の取得による支出12,987千円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、10,542千円の収入（前第2四半期連結累計期間は52,582千円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出61,198千円により資金が減少した一方で、短期借入れによる収入70,000千円により資金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月12日付「2020年9月期決算短信」において公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,229,058	1,171,678
売掛金	1,232,179	1,142,910
たな卸資産	18,844	10,173
その他	82,506	57,086
流動資産合計	2,562,589	2,381,848
固定資産		
有形固定資産	46,845	43,795
無形固定資産		
のれん	76,281	66,331
その他	48,077	43,221
無形固定資産合計	124,358	109,553
投資その他の資産		
投資有価証券	131,690	378,548
その他	207,022	242,324
貸倒引当金	△27,447	△27,447
投資その他の資産合計	311,265	593,425
固定資産合計	482,470	746,774
資産合計	3,045,059	3,128,622
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,286	148,380
短期借入金	650,000	720,000
1年内返済予定の長期借入金	122,396	122,396
未払法人税等	3,794	46,725
その他	166,485	115,967
流動負債合計	1,102,962	1,153,469
固定負債		
長期借入金	399,306	338,108
関係会社投資損失引当金	3,331	3,331
固定負債合計	402,637	341,439
負債合計	1,505,600	1,494,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,030	442,930
資本剰余金	419,974	420,874
利益剰余金	901,702	983,975
自己株式	△221,114	△221,114
株主資本合計	1,542,592	1,626,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,719	7,048
その他の包括利益累計額合計	△3,719	7,048
新株予約権	585	—
純資産合計	1,539,458	1,633,713
負債純資産合計	3,045,059	3,128,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	920,231	1,001,756
売上原価	304,898	407,155
売上総利益	615,332	594,600
販売費及び一般管理費	585,366	468,288
営業利益	29,966	126,312
営業外収益		
受取手数料	949	627
助成金収入	—	2,474
保険解約返戻金	546	1,684
消費税差額	1,403	—
その他	96	490
営業外収益合計	2,996	5,275
営業外費用		
支払利息	1,507	2,067
株式交付費	—	60
自己株式取得費用	129	—
持分法による投資損失	12,176	7,922
その他	672	19
営業外費用合計	14,485	10,070
経常利益	18,477	121,518
特別利益		
新株予約権戻入益	185	585
特別利益合計	185	585
特別損失		
関係会社投資損失引当金繰入額	896	—
減損損失	203,799	—
特別損失合計	204,696	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△186,032	122,103
法人税等	39,868	39,830
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△225,901	82,272
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△225,901	82,272

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△225,901	82,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,725	10,767
その他の包括利益合計	1,725	10,767
四半期包括利益	△224,176	93,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△224,176	93,040
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△186,032	122,103
減価償却費	25,671	22,640
のれん償却額	20,675	9,949
減損損失	203,799	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,539	—
関係会社投資損失引当金の増減額(△は減少)	896	—
保険解約返戻金	△546	△1,684
持分法による投資損益(△は益)	12,176	7,922
支払利息	1,507	2,067
自己株式取得費用	129	—
株式交付費	—	60
売上債権の増減額(△は増加)	29,756	89,268
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,023	7,523
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,707	△11,906
前受金の増減額(△は減少)	12,969	1,764
前払金の増減額(△は増加)	△4,225	4,840
未払金の増減額(△は減少)	62	△11,106
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,208	△42,383
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△8,404	3,761
その他	4,912	△13,147
小計	109,331	191,674
利息の受取額	0	122
利息の支払額	△1,508	△2,103
法人税等の支払額	△62,285	△615
法人税等の還付額	4,126	37,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,664	226,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△844	△600
無形固定資産の取得による支出	△76,716	△12,987
投資有価証券の取得による支出	—	△231,189
保険積立金の積立による支出	△13,800	△45,559
関係会社株式の取得による支出	—	△8,072
保険積立金の解約による収入	1,619	4,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,742	△294,032
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	70,000
長期借入金の返済による支出	△11,200	△61,198
株式の発行による収入	1,800	1,800
自己株式の取得による支出	△43,182	—
その他	—	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,582	10,542
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92,660	△57,380
現金及び現金同等物の期首残高	925,045	1,229,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	832,384	1,171,678

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

○税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。